校内研修

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

～校内研修におけるチームリーダーの取組～

県立川西高等特別支援学校　齊藤　英徳

主体的・対話的で深い学び

- 全く異なる指導方法を導入する必要なし
- 目指す「資質・能力」を明確にすること
- 通常の学習活動における質の向上
- 単元や題材など、内容や時間のまとまりの中で実現
- 深い学びの鍵となる「見方・考え方」を働かせる
- 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得

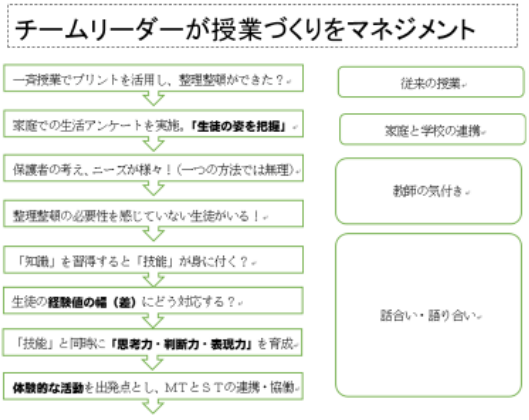
語り合い、支え合い、高め合う

- 教職員間の「協働」　→授業づくりの情報共有
- 「ねらい」を達成する授業　→導入で生徒に提示
- 「グループ」から「チーム」へ　→授業の質の向上

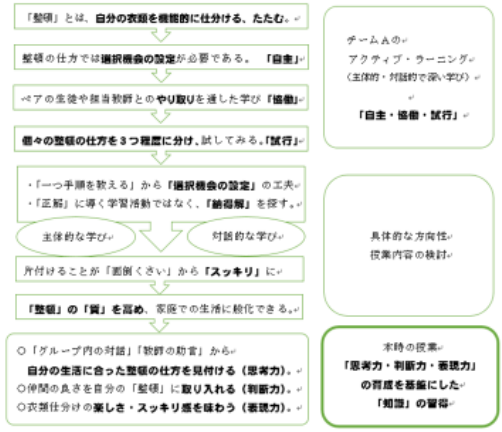
生徒の目指す姿

- 体験的な活動により、今ある「知識・技能」の活用
- 選択機会を設定し、「思考力・判断力・表現力」の育成
- 「正解」ではなく、「納得解」に向けた対話の促進

校内研修「Team A」



「家庭生活」の授業づくり



生徒間・教職員との対話的な学び

① 「知識・技能」習得…基盤づくり
② 「思考力」…コミュニケーション支援
③ 「判断力」…試行錯誤・選択・決定
④ 「表現力」…実行・達成感
⑤ 「学びに向かう力・人間性」…課題発見・解決、振り返り、意欲を高める。

- 体験を重ね、対話し、活動の意義が深まる。
（活動の面白みが分かる）

成果

- 生徒の主体的な姿が増加
- 教職員の「ねらい」の明確化
- 生徒を肯定的な視点の広がり

「家庭生活」…衣類を整頓しよう！

課題

- 年間指導計画を見直し、「職業技能」「社会生活」に関連付ける。
- 個別の指導計画における目標設定の質の向上